



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月10日

上場会社名 株式会社パイロットコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7846 URL <https://www.pilot.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 伊藤 秀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 寺田 治信 (TEL) 03-3538-3700
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	27,407	4.5	4,892	5.3	5,251	△1.6	3,622	7.7
2022年12月期第1四半期	26,229	15.1	4,647	32.8	5,338	39.0	3,363	26.2

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 4,319百万円(△23.0%) 2022年12月期第1四半期 5,609百万円(46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年12月期第1四半期	円 銭 91.82	円 銭 —
2022年12月期第1四半期	85.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年12月期第1四半期	百万円 157,683	百万円 120,666	% 75.4
2022年12月期	156,542	117,989	74.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 118,830百万円 2022年12月期 116,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 90.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	1.9	22,000	3.6	23,000	1.6	16,000	1.4	405.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 1 Q	41,814,400株	2022年12月期	41,814,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	2,364,966株	2022年12月期	2,364,966株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 1 Q	39,449,434株	2022年12月期 1 Q	39,444,141株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIPが保有する当社株式 (2023年12月期 1 Q株18,827株、2022年12月期18,827株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております (2023年12月期 1 Q18,827株、2022年12月期 1 Q8,857株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料 3 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年3月31日)における経済環境は、国内においては新型コロナウイルス感染症に伴う各種制限が大幅に緩和されウィズコロナの新たな社会規範への移行が進む中、外国人観光客の受け入れ再開や行動制限のないイベントの増加等により、社会経済活動は正常化に向けて回復が進みました。反面、国内外において、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰による物価上昇や世界的な金融引き締めに伴う為替変動等が、各国の景気に影響を及ぼし先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境の下、当社グループにおきましては、国内では訪日客の増加や消費者の購買マインドの回復により市場が活性化しつつあり、また海外では、昨年後半以来停滞感が強かった先進国の主要マーケットの需要増加や新興国の伸長等もあり、全体的に市場は回復基調となりました。加えて昨年末に発売した「フリクションボールノックゾーン」が各種広告等の効果もあり大きな話題となったほか、業界関係者が選ぶ「文房具屋さん大賞2023」において当社新製品が多くのカテゴリーで第1位となる等、当社の商品開発・企画力が評価を受け、グループパーパス「人と創造力をつなぐ。」の理念に基づいた市場ニーズを捉えた高付加価値の商品開発が進んでいます。また本年3月には「気候関連財務情報タスクフォース(TCFD)提言」に賛同し、気候変動関連リスクと機会に関する開示を充実させ、サステナブルな社会の実現への取組みも着実に進めております。

この結果、当期間の連結売上高は274億7百万円(前年同期比104.5%)となりました。国内外別では、国内市場における連結売上高は67億11百万円(前年同期比101.0%)、海外市場における連結売上高は206億95百万円(前年同期比105.7%)となりました。中期経営計画に基づく事業別実績では、筆記具事業における連結売上高は251億円(前年同期比105.2%)、非筆記具事業における連結売上高は23億7百万円(前年同期比97.0%)となりました。

また、損益につきましては連結営業利益が48億92百万円(前年同期比105.3%)、連結経常利益が52億51百万円(前年同期比98.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億22百万円(前年同期比107.7%)となりました。

(参考URL 当社中期経営計画 <https://www.pilot.co.jp/company/ir/management/plan.html>)

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、セグメント利益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、管理体制の変更に伴い報告セグメントの区分方法を見直し、従来「アジア」の区分に含めていた連結子会社であるPilot Pen Australia Pty.Ltd.を「欧州」の区分に含めております。前年同四半期連結累計期間との比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(日本セグメント)

国内のステイショナリー用品事業においては、昨年末に発売した次世代のフリクション「フリクションボールノックゾーン」を中心として、新学期に向けての新製品群が話題を集め好調に推移しました。また店頭連動型ネット広告をはじめとした各種キャンペーン等を通じ、当社の独自の技術力によって生み出された「フリクション」や「ジュースアップ」等の高付加価値商品群の拡販に努め、本格的な市場の回復に備えました。ステイショナリー用品事業の輸出においては、東南アジアを中心にコロナ禍からの復調が続き、売上が伸長しました。

玩具事業においては、主力商品である「メルちゃん」シリーズや「おふろのおもちゃ」シリーズが堅調でありましたが、その他知育玩具が苦戦しました。コレクタブルドールのカテゴリーを切りひらくべく開発された「ポケットメルちゃん」シリーズは市場での定着が進み、シリーズの拡充を図っております。

産業資材事業においては、産業機械向けのセラミックス部品が順調な推移を続けております。当社固有の微細な形状の押出成形・焼成といった技術が高い評価を受けており、需要が拡大しております。

利益面では、原材料価格の上昇等の売上原価増加により減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は90億49百万円(前年同期比106.9%)、セグメント利益は36億80百万円(前年同期比68.6%)となりました。

また、当セグメントにおける主要な事業の売上高につきましては、ステイショナリー用品事業は78億27百万円(前年同期比108.6%)、玩具事業は5億86百万円(前年同期比84.6%)、産業資材事業は6億35百万円(前年同期比112.3%)となりました。なお、ステイショナリー用品事業の内訳は、筆記具が70億84百万円(前年同期比110.7%)、文具・その他が7億43百万円(前年同期比92.1%)となりました。

(米州セグメント)

米州地域につきましては、米国市場で「G-2 (ジーツー)」や「フリクション」シリーズの販売が堅調に推移しました。ブラジル市場においてはホワイトボード用マーカー「Vボードマスター」を中心に伸長が続いています。利益面では、従業員数増加に伴う労務費増加等により減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は80億70百万円（前年同期比111.2%）、セグメント利益は3億47百万円（前年同期比58.1%）となりました。

(欧州セグメント)

欧州地域につきましては、いまだ購買マインドが回復しない国も多く苦戦しましたが、北欧等の一部の地域では「フリクション」シリーズをはじめとした主力商品が伸長しました。利益面では、売上高減少に加え労務費や広告費等の販管費増加により減益となりました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は53億85百万円（前年同期比90.8%）、セグメント利益は2億94百万円（前年同期比68.5%）となりました。

(アジアセグメント)

アジア地域につきましては、中国市場は回復傾向にありますが動きは緩やかであり、反面その他の国が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントにおける外部顧客に対する売上高は49億1百万円（前年同期比107.1%）、セグメント利益は3億1百万円（前年同期比96.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比11億41百万円増加し、1,576億83百万円となりました。

流動資産は、2億65百万円減少し1,063億40百万円となり、固定資産は、14億6百万円増加し513億42百万円となりました。

流動資産につきましては、「受取手形及び売掛金」が11億46百万円、棚卸資産（「商品及び製品」、「仕掛品」、「原材料及び貯蔵品」）が19億47百万円それぞれ増加した一方、「現金及び預金」が16億35百万円、「その他」に含まれる未収入金が21億11百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比15億36百万円減少し、370億16百万円となりました。

流動負債は、25億77百万円減少し342億15百万円となり、固定負債は、10億41百万円増加し28億1百万円となりました。

流動負債につきましては、「短期借入金」が20億19百万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が25億51百万円、「未払法人税等」が29億80百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債につきましては、「長期借入金」が8億69百万円、「繰延税金負債」が1億89百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末比26億77百万円増加し、1,206億66百万円となりました。これにつきましては、「利益剰余金」が16億48百万円、「為替換算調整勘定」が5億74百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表しました連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,128	44,492
受取手形及び売掛金	22,738	23,885
商品及び製品	21,354	23,019
仕掛品	6,922	7,018
原材料及び貯蔵品	4,558	4,745
その他	4,987	3,271
貸倒引当金	△84	△91
流動資産合計	106,606	106,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,243	27,771
減価償却累計額	△14,956	△15,286
建物及び構築物(純額)	12,286	12,485
機械装置及び運搬具	37,266	38,095
減価償却累計額	△31,579	△31,740
機械装置及び運搬具(純額)	5,687	6,354
その他	20,221	20,368
減価償却累計額	△17,596	△17,719
その他(純額)	2,624	2,649
土地	7,549	7,564
建設仮勘定	2,874	3,567
有形固定資産合計	31,023	32,620
無形固定資産		
借地権	5,355	5,355
その他	913	989
無形固定資産合計	6,268	6,344
投資その他の資産		
投資有価証券	5,728	5,444
繰延税金資産	4,421	4,323
退職給付に係る資産	1,635	1,710
その他	891	930
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	12,643	12,377
固定資産合計	49,936	51,342
資産合計	156,542	157,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,354	11,802
短期借入金	4,441	6,461
1年内返済予定の長期借入金	8	509
未払費用	2,755	2,860
未払法人税等	4,691	1,710
賞与引当金	665	1,451
役員賞与引当金	77	25
環境対策引当金	266	253
その他	9,531	9,139
流動負債合計	36,792	34,215
固定負債		
長期借入金	16	886
繰延税金負債	85	274
役員退職慰労引当金	119	108
環境対策引当金	49	49
役員株式給付引当金	24	30
退職給付に係る負債	670	685
その他	794	765
固定負債合計	1,760	2,801
負債合計	38,552	37,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,340	2,340
資本剰余金	7,923	7,923
利益剰余金	119,401	121,050
自己株式	△10,858	△10,858
株主資本合計	118,806	120,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	659	688
為替換算調整勘定	△2,587	△2,012
退職給付に係る調整累計額	△324	△299
その他の包括利益累計額合計	△2,252	△1,624
非支配株主持分	1,436	1,836
純資産合計	117,989	120,666
負債純資産合計	156,542	157,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	26,229	27,407
売上原価	12,661	12,779
売上総利益	13,568	14,627
販売費及び一般管理費	8,921	9,735
営業利益	4,647	4,892
営業外収益		
受取利息	49	114
受取配当金	3	8
為替差益	598	219
その他	75	98
営業外収益合計	726	441
営業外費用		
支払利息	21	66
その他	13	16
営業外費用合計	35	82
経常利益	5,338	5,251
特別利益		
固定資産売却益	11	20
投資有価証券売却益	-	273
受取補償金	-	197
特別利益合計	11	492
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	6	16
特別損失合計	6	16
税金等調整前四半期純利益	5,342	5,726
法人税等	1,904	2,054
四半期純利益	3,437	3,672
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,363	3,622

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	3,437	3,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	29
為替換算調整勘定	2,157	592
退職給付に係る調整額	△38	25
その他の包括利益合計	2,171	647
四半期包括利益	5,609	4,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,486	4,250
非支配株主に係る四半期包括利益	122	68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社マークスグループ・ホールディングスの株式を取得したため、同社及びその子会社の株式会社マークスを新たに連結の範囲に含めております。なお、2023年3月31日をみなし取得日としており、当第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	報告 セグメント 計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	8,465	7,258	5,929	4,576	26,229	—	26,229
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,873	1	0	—	12,876	△12,876	—
計	21,339	7,260	5,929	4,576	39,106	△12,876	26,229
セグメント利益	5,365	597	429	311	6,705	△2,058	4,647

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	報告 セグメント 計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	9,049	8,070	5,385	4,901	27,407	—	27,407
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,715	13	0	—	10,729	△10,729	—
計	19,764	8,084	5,385	4,901	38,136	△10,729	27,407
セグメント利益	3,680	347	294	301	4,623	268	4,892

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、管理体制の変更に伴い報告セグメントの区分方法を見直し、従来「アジア」の区分に含めていた連結子会社であるPilot Pen Australia Pty. Ltd.を「欧州」の区分に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。